

国内実態調査報告書

テーマ : 企業の芸術文化活動支援（メセナ）について学ぶ美術館訪問調査
ゼミ名 : 鯉淵 賢 ゼミ
調査日 : 2023年12月2日（土）～12月3日（日）
調査先 : ポーラ美術館
授業科目名 : 演習Ⅰ・Ⅱ
参加学生数 : 11名（4年生）

調査の趣旨（目的）

企業による芸術文化支援活動（メセナ）についての実態把握のため、上場企業であるポーラ・オルビスホールディングスの創業者が設立した公益財団法人ポーラ美術振興財団の美術館部門の管理部長である天野氏に公益財団法人の美術館事業についてお話を伺う。メセナ活動の知識を得て、箱根彫刻の森美術館も訪問する

調査結果

箱根町仙石原の森に囲まれた閑静なポーラ美術館を訪問し、美術館の管理部部長の天野氏に公益財団法人ポーラ美術振興財団の美術館事業についてレクチャーをいただいた。ポーラ美術館の成り立ちと活動内容、公益財団と支援元の上場企業のポーラ・オルビスグループとの関係、美術館事業の企画立案と絵画等のコレクションについての長期戦略について詳細なお話を伺った。公益財団という法的枠組みで収支相償などの原則の下で、支援元のポーラ社との関係においても距離を保ちながら、化粧品事業でのマーケティング手法を取り入れるなど、グループの経営資源を有効に生かした美術館事業運営が行われていることが分かった。翌日には、同じ箱根地域のフジサンケイグループの箱根彫刻の森美術館を訪問し、企業メセナ活動についての知識を得て、新鮮な気持ちで彫刻や絵画を眺めることができた。